

第41回 細胞生理学セミナー GTRセミナー

日時：2024. 10. 18 (金) 13:00 - 14:30

@創薬科学研究館 2階講義室&オンライン開催

渡邊 正勝 准教授

大阪大学大学院生命機能研究科

“「パターン形成」の分子メカニズム”

「パターン」とは等間隔性を持った繰り返し構造を意味し、生物の形づくりの基本となる形質の一つである。「パターン形成」は、細胞の集団形成、集団サイズの規定、集団間の境界形成などの過程を経るが、その形成には細胞間相互作用が重要な役割を担っている。ゼブラフィッシュの体表にみられる等間隔性を持った縞模様は、パターン形成研究のモデルケースとされており、黒色素細胞（黒色素胞）と黄色素細胞（黄色素胞）が細胞自律的に規則正しく並んでできている。この色素細胞間の相互作用には多くの膜蛋白質が関与しているが、細胞間に形成され、直接的な分子の伝搬に関わるギャップ結合が、特に重要な役割を担っている。本発表では、ギャップ結合を中心に、パターン形成に関わる細胞間相互作用とパターン形成因子について紹介したい。

大学院創薬科学研究科 先端薬科学特論：単位認定講義



PDFファイルの方は
[ここをクリックして](#)
[登録して下さい](#)

連絡先

名古屋大学細胞生理学センター 大嶋 篤典
atsu@cespi.nagoya-u.ac.jp 052-747-6837

